

日本農薬学会第29回大会プログラム

日時：平成16年3月24日（水）～ 3月26日（金）

会場：神戸国際会議場メインホール（神戸市中央区港島中町6-11-1、ポートアイランド）

総会、授賞式、受賞講演、特別講演

ポートピアホテル大輪田の間（神戸市中央区港島中町6-10-1）

懇親会・受賞祝賀会

神戸大学・大学教育研究センター（神戸市灘区鶴甲1-2-1）

一般講演、シンポジウム、ワークショップ、ランチョンセミナー

大会日程

3月24日（水）

総会および日本農薬学会賞授賞式 神戸国際会議場メインホール 9：30－10：50

1. 総会：会務報告、会計監査報告、議事
2. 日本農薬学会賞授賞式

受賞者講演

奨励賞

石原亨（京都大学大学院農学研究科） 11：00－11：30

葛西真治（国立感染症研究所・昆虫医科学部） 11：30－12：00

西脇寿（近畿大学農学部） 13：00－13：30

業績賞（研究）

尾添嘉久（島根大学生物資源科学部） 13：30－14：00

業績賞（技術）

池田修、直原哲夫、宗形成郎、佐藤実（日本農薬） 14：00－14：30

大島武、光明寺輝正、三谷滋、松尾憲総、中島俊雄（石原産業） 14：30－15：00

特別講演

John E. Casida（カリフォルニア大・バークレー校・教授） 15：10－16：10

大内脩吉（日本農薬・代表取締役社長） 16：20－17：20

懇親会・受賞祝賀会

ポートピアホテル大輪田の間

18：00－20：00

3月25日（木）、3月26日（金）

一般講演、シンポジウム、ワークショップ、ランチョンセミナー

神戸大学・大学教育研究センター

9：00－17：30

平成16年度日本農薬学会賞受賞者講演

3月24日(水)

神戸国際会議場メインホール

11:00-15:00

奨励賞

石原 亨(京都大学大学院農学研究科)

「アベナンスラミド類の生合成誘導機構に関する研究」

(座長:松本 宏)

葛西真治(国立感染症研究所・昆虫医科学部)

「ピレスロイド剤抵抗性要因としてのシトクロム P450 に関する研究」

(座長:宮川 恒)

西脇 寿(近畿大学農学部)

「ネオニコチノイド系殺虫剤の構造活性相関と作用機構に関する研究」

(座長:坪井真一)

業績賞(研究)

尾添嘉久(島根大学生物資源科学部)

「神経伝達物質受容体とそのリガンドに関する研究」

(座長:梅津憲治)

業績賞(技術)

池田 修、直原哲夫、宗形成郎、佐藤 実(日本農薬)

「除草剤インダノファンの開発」

(座長:瀬谷 昭)

大島 武、光明寺輝正、三谷 滋、松尾憲総、中島俊雄(石原産業)

「殺菌剤シアゾファミドの開発」

(座長:谷中国昭)

特別講演

3月24日(水)

神戸国際会議場メインホール

15:10-17:20

John E. Casida(カリフォルニア大・バークレー校・教授)

「Why Insecticides are More Toxic to Insects than People:
The Unique Toxicology of Insects」

(座長:江藤守総)

大内脩吉(日本農薬・代表取締役社長)

「日本の農薬産業の課題と展望」

(座長:松中昭一)

シンポジウム

3月25日(木)

B会場 (K202)

13:30-17:30

「残留農薬のリスクの評価・管理・コミュニケーション」

(残留農薬研究会およびレギュラトリーサイエンス研究会との共催)

オーガナイザー：石井康雄、清水克彦、山本広基、星野敏明

1. 残留農薬の評価体制と食品安全委員会の設立

木下光明 (食品安全委員会事務局)

(座長：石井康雄)

2. 農薬取締法の改正と農薬の適正使用の遵守

横田敏恭 (農林水産省農薬対策室)

(座長：上路雅子)

3. JAグループにおける安全な農産物作りの取り組み

近藤俊夫 (全国農業協同組合連合会営農・技術センター)

(座長：星野敏明)

4. 消費者の立場からの農薬問題とリスクコミュニケーション

魚崎辰彦 (生活協同組合コープこうべ総合品質管理室)

(座長：中村幸二)

5. 食品からの残留農薬摂取の実態

斎藤 勲 (愛知県衛生研究所)

(座長：永山敏廣)

6. 総合討論

総合司会：山本広基

3月26日(金)

B会場 (K202)

13:30-17:30

「受容体研究と農薬科学」

(農薬バイオサイエンス研究会との共催)

オーガナイザー：有江 力

1. 昆虫のチラミン受容体：生物制御剤のターゲット？

尾添嘉久 (島根大学生物資源科学部)

(座長：加藤康仁)

2. 担子菌（きのこ類）の交配、子実体形成にかかわるシグナルと受容体

鎌田 堯 (岡山大学理学部)

(座長：清水 力)

3. 病原菌の分子パターンを認識する植物受容体

渋谷直人 (明治大学農学部)

(座長：石原 亨)

4. ファージディスプレイによる小分子結合ペプチドの配列および遺伝子の決定

菅原二三男 (東京理科大学理工学部)

(座長：元場一彦)

5. ゲノム創農薬のターゲットとしての昆虫ホルモン受容体

梶井昭夫 (日本化薬精密化学品開発研究所)

(座長：田村廣人)

ワークショップ

3月25日(木)

B会場 (K202)

9:00-12:00

マイナー作物の農薬登録:

「"The IR-4: Providing Safe and Effective Pest Management Solutions for U.S. Specialty Crop Growers" (アメリカにおけるマイナー作物生産農家に安全で効果的な病虫害・雑草管理手段を提供する国家プロジェクト IR-4)」

1. マイナー作物の登録農薬不足問題の解決に向けて
ーアメリカにおける40年の実績から学ぶことー
本山直樹(千葉大学園芸学部)
2. IR-4 Program: History, Operations and Partnerships
Robert E. Holm
3. IR-4 Program: Process and Research Programs
Jerry J. Baron
4. 総合討論
総合司会: 本山直樹

ランチョンセミナー

オーガナイザー: 岡本悠子

3月25日(木)

12:10-13:20

1. 食品中の残留農薬分析法
新規物質の分析法開発の注意事項
LC/MSの残留分析への応用
藪崎 隆(日本食品分析センター) (座長: 中村幸二)
A会場 (K201)
2. European Risk Assessment: the EU Approach to Environmental
Risk Assessment (農薬の環境運命試験とその評価法) B会場 (K202)
Brian E. Hall (インバレスクリサーチ) (座長: 片山新太)
3. Aquatic Microcosm Studies: Progress Achieved and Application of
Results in Risk Assessments (水系生態影響試験とその評価法) C会場 (K301)
Hector Galicia (スプリングボーン研究所) (座長: 滝本善之)

3月26日(金)

12:10-13:20

4. 内分泌攪乱化学物質の魚類に対する有害性評価
ー環境省及びOECDにおける取り組みを中心にー
横田弘文(化学物質評価研究機構) (座長: 赤松美紀)
A会場 (K201)
5. 代謝物を含む環境運命の考え方(仮題) C会場 (K301)
Andrew Hill (コーヴァンスラボラトリーズ) (座長: 佐藤 清)

一般講演およびシンポジウム等日程表

月 日	時 刻	A 会場 K201	B 会場 K202	C 会場 K301
3 月 25 日 (木)	9:00~ 12:00	環境科学、生体影響	ワークショップ： マイナー作物の 農薬登録	作用機構、抵抗性
	12:10~ 13:20	ランチョンセミナー： 日本食品分析センター	ランチョンセミナー： インバレスクリサーチ	ランチョンセミナー： スプリングボーン研究所
	13:30~ 17:30	分子設計、天然物化学、 合成プロセス、 グリーンケミストリー	シンポジウム： 残留農薬のリスクの 評価・管理・コミュ ニケーション	作用機構、抵抗性、 生物活性、検定法、 製剤、施用法、遺伝子科学、 レギュラトリーサイエンス
3 月 26 日 (金)	9:00~ 12:00	環境科学、生体影響	代謝、分解、動態	残留、分析法
	12:10~ 13:20	ランチョンセミナー： 化学物質評価研究機構		ランチョンセミナー： コーヴァンス ラボラトリーズ
	13:30~ 17:30		シンポジウム： 受容体研究と農薬科学	

一般講演 座長一覧

月 日	A 会場 K201	B 会場 K202	C 会場 K301
3 月 25 日 (木)	松田一彦(A101 ~ A105) 赤松美紀(A106 ~ A110)	ワークショップ	中川好秋(C101 ~ C105) 山本好伸(C106 ~ C110)
	ランチョンセミナー	ランチョンセミナー	ランチョンセミナー
	平島明法(A201 ~ A205) 林 雅俊(A206 ~ A210) 田母神繁(A211 ~ A215)	シンポジウム	石原 亨(C201 ~ C204) 尾添嘉久(C205 ~ C207) 塩月孝博(C208 ~ C211) 有江 力(C212 ~ C215)
3 月 26 日 (金)	清水克彦(A301 ~ A304) 渡邊裕純(A305 ~ A308) 貞包眞吾(A309 ~ A312)	佐藤 清(B301 ~ B305) 富ヶ原祥隆(B306 ~ B310)	石井康雄(C301 ~ C304) 遠藤正造(C305 ~ C308) 山本広基(C309 ~ C312)
	ランチョンセミナー		ランチョンセミナー
		シンポジウム	

一般講演に関するお願い

1. 一般講演はOHPを使用して行います。
スライド、液晶プロジェクターは使用できません。
2. 講演時間は1題15分（講演12分、討論3分）です。
（1 鈴10分、2 鈴12分、3 鈴15分）
3. 講演者および座長の方は、当該講演の30分前までに受付をお済ませください。

ランチョンセミナーへの参加について

1. ランチョンセミナーに参加される方は、大会受付で登録し、弁当整理券（無料）をお受け取りください。各セミナー先着100名で締切ります。
2. その弁当整理券を各会場の入り口で係りに渡し、弁当をお受け取りください。

展示について

1. 3月25、26日の両日に神戸大学・大学教育研究センターK棟 401 号室においてランチョンセミナー参加のコントラクトラボの展示、機器や書籍の展示を予定しておりますのでご参加ください。

第29回大会（神戸）組織委員会

委員長：大川秀郎（神戸大・遺伝子実セ）

副委員長：佐々木満（神戸大院・自然）

委員：赤松美紀（京大院・農）、林雅俊（大塚化学）、今石浩正（神戸大・遺伝子実セ）、乾秀之（神戸大・遺伝子実セ）、町谷幸三（日本農薬）、宮川恒（京大院・農）、三宅秀芳（神戸大・農）、中川好秋（京大院・農）、大坪敏明（住友化学）、貞包眞吾（三共アグロ）、実光穰（住友化学）、清水克彦（兵庫農技総合セ）、下原田洋（石原産業）、杉本幸裕（神戸大・農）、滝川浩郷（神戸大院・自然）

一 般 講 演

講演 12 分 (1 鈴 10 分、2 鈴 12 分) 討論 3 分 (3 鈴 15 分)

3 月 25 日 (木)

A 会 場 K 2 0 1

午前の部 (9:00~11:30)

- 9:00 **A101** DDT 類縁体代謝物のエストロゲン受容体結合活性
○島田誉弘^{*, **}、中神静香^{**}、宮下正弘^{*, **}、宮川 恒^{*}、赤松美紀^{*, **}
(*京大院・農、**科技機構・CREST)
- 9:15 **A102** 内分泌攪乱活性物質の作用評価 抗アンドロゲン活性化合物の 3D-QSAR 解析
○田村廣人、石本洋一、赤松美紀^{*} (名城大・農、*京大院・農)
- 9:30 **A103** 河川底質より分離したアトラジン分解性微生物共同体：その特徴と代謝活性
○薩摩孝次、田中裕美、林 靖、佐藤 清、加藤保博 (残農研・化)
- 9:45 **A104** 水域の微生物生態系に及ぼす化学物質の影響評価に用いるモデル生物膜の開発 (1)
ー河川生物膜中の構成微生物の単離とライブラリーの作成
○安部 滋、Jang Ji Eun、巢山弘介、井藤和人、山本広基 (島根大・生物資源)
- 10:00 **A105** 淡水性ニッチア属珪藻のトリアジン系除草剤ジメタメトリンに対する感受性
○石原 悟、堀尾 剛、小原裕三、大津和久、横山淳史、遠藤正造 (農環研)
- 10:15 **A106** 農薬の藻類に対する回復性試験方法の検討
○山崎尚人 (農薬検査所)
- 10:30 **A107** ドリン類吸収能の作物間差異 (1) 残留土壌からのドリン類吸収量の作物間比較
○大谷 卓、清家伸康 (農環研)
- 10:45 **A108** トビケラ幼虫を用いた農薬の影響評価法ートビケラ幼虫を用いた殺虫剤の急性毒性試験ー
○横山淳史、大津和久、石原 悟、小原裕三、堀尾 剛、遠藤正造 (農環研)
- 11:00 **A109** トビケラ幼虫を用いた農薬の影響評価ーコガタシマトビケラの室内飼育法 (第 1 報) ー
○大津和久、横山淳史、石原 悟、小原裕三、堀尾 剛、遠藤正造 (農環研)
- 11:15 **A110** 農薬の生態影響評価ー谷津田ビオトープに投入した 2 種殺虫剤の水生生物および底生生物
に対する影響
○吉田奈々子、西山大紀、駒形 修、F. Sanchez-Bayo、五箇公一^{*}、本山直樹
(千葉大・園、*国立環境研)

午後の部 (13:30~17:15)

- 13:30 **A201** メチルホスホン酸型ゼアチン類の簡便な合成法
○武田昌彦、杉山民二 (明治大・農)
- 13:45 **A202** 光学活性ヒドロキシ脂肪酸誘導体の合成
○飛田憲一、滝川浩郷、三宅秀芳、佐々木満 (神戸大院・自然)
- 14:00 **A203** ジヒドロキシ脂肪酸誘導体の合成
○中山清敬、滝川浩郷^{*}、三宅秀芳、佐々木満^{*} (神戸大・農、*神戸大院・自然)

- 14:15 **A204** 新規殺菌剤 MTF-753 に関する研究 (第 1 報) MTF-753 及び関連化合物の合成と殺菌活性
○勝田裕之、吉川幸宏、富谷完治、川島秀雄、高橋 完、北島利雄、稲見俊一、
柳瀬勇次、貴志淳郎 (三井化学・機能化学品研)
- 14:30 **A205** 新規殺菌剤 MTF-753 に関する研究 (第 2 報) MTF-753 の抗菌活性及び病害防除効果
○柳瀬勇次、明瀬智久、貴志淳郎、戸村直文、稲見俊一、下鳥 均*、勝田裕之、
富谷完治、吉川幸宏 (三井化学・機能化学品研、*三井東圧農薬)
- 14:45 **A206** ノシメマダラメイガにおけるストレス反応制御機構
チラミン受容体アゴニストのフェロモン分泌阻害作用と分子モデリング
○平島明法、茂田陽子、木水めぐみ*、永楽智彦、桑野栄一 (九大院・農、*九大・農化)
- 15:00 **A207** 新規トリアゾリノン誘導体の合成と除草活性
○木戸庸裕、沖田洋行、竹内 崇、岡村充康、森田 健 (北興化学工業)
- 15:15 **A208** 光学活性なベンジルエポキシシクロペンチルエーテルの合成と除草活性
○田母神繁、仙田良靖、野間正名 (秋田県立大・生物資源)
- 15:30 **A209** 新規殺菌剤チアジニル (ブイゲット®) に関する研究 第 1 報
チアジニル (ブイゲット®) の合成
○嶋岡孝史、黒田 潔、三瓶 修、山口 実、谷山吉隆、高木和裕、廣岡 卓、
山本好伸、津幡健治 (日本農薬)
- 15:45 **A210** LC/MS/MS による微量定量法を用いた付傷シイタケに新たに生成する抗菌物質の生成条
件に関する研究
○平林達也、刈屋 亨、河野芳樹 (茨城大・農)
- 16:00 **A211** 抗菌活性を有する ambruticin の構造活性相関：部分還元物の調製
○河合岳志、安藤 哲、毛利岳人*、河内真一郎*、堀 正大*
(農工大院・BASE、*科研製薬)
- 16:15 **A212** 北海当帰に含まれるキイロショウジョウバエに対する殺虫活性成分
○塚本俊彦、安西 淳、石川幸男*、宮澤三雄 (近畿大・理工、*東大院・農生命)
- 16:30 **A213** ミヤコグサが生産する根寄生雑草ストライガ種子発芽刺激物質の精製
杉本幸裕、○伊東ちひろ、安田典史、脇内成昭 (神戸大院・自然)
- 16:45 **A214** *Penicillium bilaiae* の生産する新規殺線虫物質 penipratynolene の構造と生物活性
仲原 聡、草野 都*、藤岡昭三**、○島田淳巳***、木村靖夫
(鳥取大・農、*スウェーデン農科大、**理研、***九共大・工)
- 17:00 **A215** 植物病原放線菌サツマイモ立枯病菌の生産する植物毒素
今澤紘佳、川出 洋、安部 浩、○夏目雅裕 (東京農工大・応用生物)

C 会 場 K 3 0 1

午前の部 (9:00~11:30)

- 9:00 **C101** アカパンカビのジカルボキシイミド誘導遺伝子のリアルタイム定量 PCR 解析
○坂野真平、野口莉枝子、落合則幸*、木村 真**、山口 勇**、藤村 真
(東洋大・生命、*東洋大・工、**理研・PSC)

- 9:15 **C102** アカパンカビのヒスチジンキナーゼ遺伝子破壊株の作製とその形質の解析
○岡田晃佳、落合則幸*、坂野真平、木村 真**、山口 勇**、藤村 真
(東洋大・生命、*東洋大・工、**理研)
- 9:30 **C103** 1999 年ー2003 年のイネいもち病菌圃場採集菌におけるメトミノストロビン感受性及び
チトクローム **b** 遺伝子コドン 143 の塩基配列
○新木康夫、梶原 穂、沢田治子、益子道生*
(バイエルクロップサイエンス、*塩野義製薬)
- 9:45 **C104** 新規殺菌剤チアジニル (ブイグット®) に関する研究 第 2 報
チアジニルのイネいもち病および各種病害に対する効果
梅谷訓永、○伯野史明、内黒羽子徹、黒川典美、山本好伸、廣岡 卓 (日本農薬)
- 10:00 **C105** 新規殺菌剤チアジニル (ブイグット®) に関する研究 第 3 報 チアジニルの作用機構
○竹元 剛、堀越 守、伯野史明、梅谷訓永、山本好伸、廣岡 卓 (日本農薬)
- 10:15 **C106** TF-991 の作用機構
○桐原大道、中野元文、田中千尋、宮川 恒、奥野哲郎 (京大院・農)
- 10:30 **C107** ニコチン性アセチルコリン受容体とネオニコチノイドの相互作用に対する α サブユニット
loop B-C 間領域の寄与
○下村 勝、横田麻衣子、松田一彦、David B. Sattelle*、駒井功一郎
(近畿大院・農、*オックスフォード大)
- 10:45 **C108** *O*-モノアルキルアミノホスフェート体が *N*-アルキル-及び *N,N*-ジアルキルリン酸アミド
型有機リン殺虫剤の共通の活性体か
○笠神威雄、宮本 徹 (東京農大・生応化)
- 11:00 **C109** イエバエグルタチオン *S* 転移酵素分子種の計算化学による立体構造構築
○上田 尚、箕川 剛、野本洋平、須恵雅之、宮本 徹 (東京農大・生応化)
- 11:15 **C110** イエバエグルタチオン *S* 転移酵素 6A と 6B のプロチオホスに対する選択性
○箕川 剛、上田 尚、野本洋平、須恵雅之、宮本 徹 (東京農大・生応化)

午後の部 (13:30~17:15)

- 13:30 **C201** クアシノイド類の殺線虫活性発現機構ーGABA 受容体関与の可能性
○栗山理彦、房崎明香、巨 修練、菱沼広行、佐藤忠章*、小池一男*、二階堂保*、
尾添嘉久 (島根大・生資科、*東邦大・薬)
- 13:45 **C202** 昆虫脱皮ホルモン様活性物質の脱皮ホルモン受容体結合活性
ー昆虫種間 hybrid 受容体タンパク質を用いての結合活性測定ー
○小倉岳彦、水口智江可、中川好秋、宮川 恒 (京大院・農)
- 14:00 **C203** 電位依存性カルシウムチャネルを標的とする殺無脊椎薬等のスクリーニング系の構築
○木村忠史、久保 泰 (産総研・脳神経情報)
- 14:15 **C204** 新規殺虫剤ピリダリルに関する研究 (第 4 報)
ハスモンヨトウ幼虫の表皮および昆虫培養細胞 Sf9 の電顕的観察
○斎藤 茂*、吉岡孝文**、梅田公利***
(住友化学 *国際アグロ事業部、**生物環境科学研、***農業化学品研)

- 14:30 C205 新規含フッ素 1,3,5-トリアジン系化合物に関する研究 (第 11 報)
～2-置換ベンジルアミノ-4-フルオロメチル-6-トリフルオロメチル-1,3,5-トリアジン系化合物のアトラジン抵抗性シロザ光合成電子伝達系阻害活性～
○藤森厚史、三井綾子、岡野留衣子、河野 均、Peter Böger*、若林 攻
(玉川大院・農、*コンスタンツ大)
- 14:45 C206 新規含フッ素 1,3,5-トリアジン系化合物に関する研究 (第 12 報)
～2-置換ベンジルアミノ-4-トリクロロメチル-6-置換-1,3,5-トリアジン系化合物のアトラジン抵抗性シロザ光合成電子伝達系阻害活性～
○岡野留衣子、三井綾子、河野 均、Jack J. S. van Rensen*、Peter Böger**、若林 攻
(玉川大院・農、*ワーゲニンゲン大、**コンスタンツ大)
- 15:00 C207 新規含フッ素 1,3,5-トリアジン系化合物に関する研究 (第 13 報)
～2-置換ベンジルアミノ-6-トリハロメチル-1,3,5-トリアジン系化合物の *Scenedesmus acutus* に対する植物毒性活性～
○三井綾子、岡野留衣子、藤森厚史、河野 均、Peter Böger*、若林 攻
(玉川大院・農、*コンスタンツ大)
- 15:15 C208 培養昆虫神経細胞に存在するイオンチャンネル類の応答の patch-clamp 法による記録
○伊原 誠、松田一彦、駒井功一郎 (近大院・農)
- 15:30 C209 果樹園における新規交信攪乱剤の取り組み
ミカンコハモグリガとカキノヘタムシガにおける交信攪乱試験
○山本雅信、Le Van Vang、安藤 哲、中 秀司*、土田浩治*、鈴木俊郎**、大林延夫***、中田恵久***、Shaban Ali Mafi***、望月文昭****、福本毅彦****
(農工大・BASE、*岐阜大・農、**岐阜農技研、***愛媛大・農、****信越化学)
- 15:45 C210 農薬製剤設計に向けた種々の鉱物キャリアー中におけるシメコナゾールの安定性挙動の検討
○井上大輔、荒谷昌亨*、田中清子、石崎秀治、貞包眞吾、伊藤寛之、大河内武夫
(三共アグロ・農科研、*三共・製剤研)
- 16:00 C211 粒剤中でのシメコナゾールの安定化に関する製剤研究
井上大輔、荒谷昌亨*、田中清子、石崎秀治、貞包眞吾、○大河内武夫
(三共アグロ・農科研、*三共・製剤研)
- 16:15 C212 フィードバック非感受性アントラニル酸合成酵素を導入したシロイヌナズナにおける代謝変動の解析
○浅田洋平*、****、石原 亨*、****、宮川 恒*、****、矢部尚登**、****、若狭 暁***、****
(*京大院・農、**東大院・理、***農研機構・作物研、****科技団CREST)
- 16:30 C213 カイコの成長過程における幼若ホルモンエポキシドヒドラーゼの機能と遺伝子発現
○塩月孝博、譚 安江、平井 誠* (農業生物資源研、*自治医科大)
- 16:45 C214 木酢液製剤「ナースグリーン」の殺虫活性と有効成分
○本山直樹、G. K. M. Mustafizur Rahman (千葉大・園)
- 17:00 C215 各種木酢液・竹酢液の成分と生物活性
○駒形 修、本山直樹 (千葉大・園)

3月26日(金)

A 会 場 K 2 0 1

午前の部 (9:00~12:00)

- 9:00 A301 農耕地での非イオン系界面活性剤の環境動態の解明 土壌糸状菌による分解機構の解明
丹羽香月、○若山 学、吉川博道*、田村廣人 (名城大・農、*福岡工大・工)
- 9:15 A302 果樹用農薬の河川への流出実態
○矢口直輝、小林富雄、和田健夫、井上隆信* (長野農総試、*岐阜大)
- 9:30 A303 殺菌剤ベンチアバリカルブイソプロピルの畑圃場土壌中における下方移動性
○水谷浩之、浅野 譲*、池田光政、箭木 昭
(クミアイ化学・生科研、*エコプロ・リサーチ)
- 9:45 A304 水田散布農薬の流出解析モデル
○井上隆信、太田貴之、松井佳彦、松下 拓、中野亜弓*、築地邦晃*
(岐阜大・工、*岩手農研セ)
- 10:00 A305 除草剤アトラジンとリニユロンの土壌吸着時における競合性評価
○江波戸宗大、米林甲陽* (畜草研、*京都府大・農)
- 10:15 A306 ドリフト抑制ノズルの評価並びに地表面からの二次液滴がドリフトに及ぼす影響
○山本幸洋*、松丸恒夫 (千葉農総研、*現在、千葉県長生農改)
- 10:30 A307 平水時における懸濁物質中の農薬濃度変動について
○河上強志、殷 熙洙*、上路雅子*、荒尾知人*、遠藤正造*、宮崎淳児**、田村憲司***、
東 照雄*** (筑波大・生環科、*農環研、**茨城県自然博物館、***筑波大・応生化)
- 10:45 A308 1,3-ジクロロプロペンの大気放出量抑制技術の適用と大気中濃度低減効果の推定
○小原裕三、石原 悟、大津和久、堀尾 剛、遠藤正造 (農環研)
- 11:00 A309 水田群からの農薬流出予測モデルの開発 II -集水域からの農薬流出モニタリング-
○渡邊裕純、Vu Hong Son、石原 悟*、上路雅子*、田中宏明**
(東京農工大、*農環研、**土木研究所)
- 11:15 A310 Herbicide fate and transport monitoring in paddy field under two different water management scenarios
○My Hoang Tra NGUYEN, Souphasay KOMANY, Son Hong VU, Hirozumi WATANABE, Satoru ISHIHARA*, Yuriko ASAMI, Takashi MOTOBAYASHI, Sohzoh SUZUKI, Makoto KATO (TUAT, *NIAES)
- 11:30 A311 Simulation of pesticide in paddy field by coupling PCPF-1 and HYDRUS-2D: Tracer validation
○Julien TOURNEBIZE*,***, Hirozumi WATANABE*, Kazuhiro TAKAGI**, Taku NISHIMURA* (*TUAT, **NIAES, ***IEAE, France)
- 11:45 A312 農薬の地下浸透性評価試験方法の検討 第2報-土壌カラムへの水の供給方法について-
○渡辺高志、岩船 敬 (農薬検査所)

B 会 場 K 2 0 2

午前の部 (9:00~11:30)

- 9:00 B301 いもち病防除剤デラウス®のラットにおける代謝
○富ヶ原祥隆、永堀博久、磯部直彦、金子秀雄、三上信可 (住友化学・生環研)
- 9:15 B302 殺菌剤 diethofencarb のラットにおける代謝:
新規硫黄含有代謝物 thiolactic acid 抱合体の検出
○松井正義、樽井弘和、富ヶ原祥隆、磯部直彦、三上信可 (住友化学・生環研)
- 9:30 B303 新規殺菌剤シメコナゾールのマウスにおける代謝
○若林晃次、貞包眞吾、安藤 満 (三共アグロ・農科研)
- 9:45 B304 殺菌剤ベンチアバリカルブイソプロピルのラット肝 S-9 における代謝
池田光政、○宇佐美智巳、箭木 昭 (クミアイ化学・生科研)
- 10:00 B305 殺虫剤ジノテフランのイネにおける代謝
○木下勝敏、戸村直文、脇田健夫、A. Panthani* (三井化学・機化研、*Ricerca)
- 10:15 B306 除草剤 flufenpyr-ethyl のラットおよびマウスにおける代謝
○永堀博久、松永治之、富ヶ原祥隆、磯部直彦、金子秀雄、三上信可
(住友化学・生環研)
- 10:30 B307 土壌等から単離した mefenacet 分解菌の特徴
○原田直樹、高木和広*、原園愛子**、岩崎昭夫***
(興和総合科学研、*農環研、**アイキューブつくば、***筑波大・応生化)
- 10:45 B308 Sorption and leaching of ethametsulfuron-methyl in natural and organic amended soils
○司 友斌、高木和広 (農環研)
- 11:00 B309 [¹⁴C]4-*n*-ニルフェノールの水中光分解運命
○林 靖、佐藤 清、加藤保博 (残農研)
- 11:15 B310 *Bacillus* 属 2 種混合液を用いたディルドリン分解能の評価
○池田悠里、高木和広*、橋本良子 (東京農試、*農環研)

C 会 場 K 3 0 1

午前の部 (9:00~12:00)

- 9:00 C301 Method assessment for the determination of pesticide residue in soil sample using commercially produced ELISA kit
○Sonny B. Conde, Kosuke Suyama, Kazuhito Itoh, Hiroki Yamamoto
(Fac. Life & Environ. Sci., Shimane Univ.)
- 9:15 C302 除草剤シマジンに特異的なモノクローナル抗体及び組換え抗体 scFv を用いた免疫化学測定法
○藤井律子、西 甲介、乾 秀之、今井哲弥*、大川秀郎
(神戸大・遺伝子実験セ、*大塚化学)
- 9:30 C303 除草剤アラクロールに特異的なモノクローナル抗体を用いた免疫化学測定法による環境水試料の測定

○松尾良子、土居史人、森宗孝介*、西 甲介、乾 秀之、大川秀郎
(神戸大・遺伝子実験セ、*大塚化学・鳴門研)

9:45 C304 殺虫剤マラチオンに特異的抗体を用いたイムノアフィニティーカラムの開発

○竹原明良、西 甲介、三宅司郎*、乾 秀之、大川秀郎
(神戸大・遺伝子実験セ、*ホリバ・バイオテクノロジー)

10:00 C305 マラソン残留がアシタバ (*Angelica keiskei* KOIDZUMI) の機能性に与える影響

○権田優子、橋本良子 (東京農試)

10:15 C306 保存中における柿試料中のマラソンの減衰及びその対応策 ―アスコルビン酸の効果―

○荒井雄太、荻山和裕、杉山 浩、小林裕子 (日植防研)

10:30 C307 LC/MS によるベンフラカルブの作物残留分析

○東田牧子、鈴木由香、水越一史、藪崎 隆 (日本食品分析セ)

10:45 C308 野菜類におけるディルドリンの残留特性

○橋本良子、池田悠里 (東京農試)

11:00 C309 ディルドリン及びエンドリンの分析法の開発

○殷 熙洙、関野 禎*、渡邊栄喜、馬場浩司、荒尾知人、遠藤正造
(農環研、*環境研究セ)

11:15 C310 イムノアッセイによるアセタミプリドの作物残留分析

○中野亜弓、築地邦晃、畠山えり子* (岩手県農研セ、*岩手県環境研セ)

11:30 C311 農産物の残留農薬検査におけるイムノアッセイ法の利用について

○天野昭子 (岐阜農技研)

11:45 C312 殺虫剤イミダクロプリド用 ELISA キットの性能評価及び農作物中残留分析への応用

○渡邊栄喜、殷 熙洙、馬場浩司、荒尾知人、石井康雄、遠藤正造、上路雅子 (農環研)